

登録コード	E9060400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	楠見 友輔
英文授業名	Graduation Study					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					知的障害教育における深い理解と倫理に基づいた研究を計画・実践する。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					教育実践に貢献し得る知見を明らかにする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	基本的に、以下の内容に関する研究を計画、実践し、卒業論文を作成する。 知的障害またはその他の障害に関するトピック / 国内外の特別支援教育の制度 / 障害児教育の歴史 / 学習論 / 授業研究 / インタビュー研究 / 質的研究 / 教師の専門性や教師の発達 / 障害理解 / インクルーシブ教育 定期的開催されるゼミで、調査、質的分析、考察、論文執筆の方法、プレゼンテーションの方法について教授する。また、論文執筆に向けて個人指導を行う。						
(5)授業計画	前期 ・文献の講読による論文の形式の学習 ・調査への動向によるインタビューや観察手法の学習 ・質的分析法の演習 後期 ・卒業研究の調査計画 ・調査の実施（主にインタビュー、観察、資料分析） ・分析と考察 ・論文執筆（12月末を目途に初校を仕上げる） ・論文の修正と抄録の作成（1月中） ・卒論発表会でのプレゼンテーション（2月上旬） / 授業アンケート						
(6)成績評価の方法	前期の学習（20%）、卒業論文の計画・調査（20%）、卒業論文（50%）、プレゼンテーション（10%） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	前期の学習、卒業論文の計画・調査、卒業論文、プレゼンテーションのそれぞれについて、 (i) 先行研究の整理（0 20点） (ii) 調査・分析の方法についての理解と遂行能力（0 20点） (iii) 卒業論文にかかる自身の問いの適切さと独自性（0 20点） (iv) 研究に向き合う態度（0 20点） (v) 問いに対する自身の答えの適切さと意義（0 20点） で評価した上で、「成績評価の方法」に示した配点で傾斜をかけて総合評価を行う。						
(8)事前事後学習の内容	授業時間外での調査、分析、論文執筆、指導教員との面談、等が必要となる。 60時間以上の講義時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	当該年度に卒業論文を提出する学生が対象となる。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	楠見友輔（ kusumi@shinshu-u.ac.jp ）						
【教科書】	これからの質的研究法： 1 5 の事例にみる学校教育実践研究（2019年、東京図書）						
【参考文献】	随時提示する						